



物流を支える「力」に、会社を変える人づくりプログラム

トライエスプログラム®



ウェルポート株式会社 本社営業所
平成 27 年 11 月度 教育研修記録簿

作成者：物流第一事業部 澤木洋臣

1. 実施概要

- 開催日時：平成 27 年 11 月 21 日（土）10：00～17：00（7 時間）
- 開催場所：ウェルポート株式会社 本社営業所
- 実施者：物流第一事業部 永井和則 澤木洋臣
- 参加状況：運送事業部 22 名/29 名 参加率 76%
本社南センター 0 名/10 名 参加率 0% （参加者リストは別紙参照）
- 教育区分：安全・環境・労務・その他（ ）

2. 乗務員ミーティング

- 議題
 - ① デジタコ君 半期発表・表彰
 - ② 燃費結果報告
 - ③ トラックの死角（実車を使って確認）
 - ④ 内輪差（実車を使って確認）
 - ⑤ オーバーハング（実車を使って確認）
- 今回のポイント

- トラックの死角、内輪差、オーバーハング危険性を実車を使用して確認をする。
 - ・トラックの死角になるところにカラーコーンを配置し、実際に乗車位置から見えないことを改めて確認する。
 - ・内輪差、オーバーハングを実車を走行させ、前輪タイヤからどれだけの誤差がでるのかを実車で見る事で巻き込み確認、右左折時の後方確認の重要性を改めて確認する。また、実際に障害物にぶつけてもらう事で、当たるという感覚や恐怖心を感じてもらう。

- コメント（抜粋）
 - ・こんなに死角が、本当に見えないということを実感できた。
 - ・普段はしっかり確認をしているが、停車時に改めて他事せずしっかり確認をすることが大事だと感じた。
 - ・書面で内輪差やオーバーハング・内輪差を見ることはあっても実際に車両を使って見ることはなかったので、改めて危険性を感じた。
 - ・今まで、大丈夫だろうという感覚で運転していた。本日実車で体験し、実際にぶつけることでぶつける事の危険性や、注意しなければいけないポイントをつかむことができた。

■ 乗務員ミーティング所見

今まで書面だけで伝えてきたことを、実車で確認していただくことで乗務員の方が改めて怖さや注意しなければいけないポイントを身をもって感じていただけたと思います。年末・年始に向け一般車も増えていきます。管理者様からも、改めて注意の促しをお願いできればと思います。

■ ミーティング写真



3. その他（連絡事項等）

■ 連絡事項

- ・本日欠席者へ、内輪差・オーバーハングについてのフォローをお願い致します。
⇒欠席者に関しては、出欠リストをご覧ください。

【担当：管理者様】

※参考 URL <https://www.youtube.com/watch?v=x718AR7x1fU> (オーバーハング)
<https://www.youtube.com/watch?v=GCWejLWY14Y> (死角)

■ 配布資料

- ① 教育研修記録簿（本紙）
- ② ミーティング参加者リスト
- ③ 燃費結果表

■ 次回ミーティング日時（予定）

- ・乗務員ミーティング：平成 27 年 5 月 日付・時間未定
- ・管理者ミーティング：平成 27 年 5 月 日付・時間未定

～今月もお疲れさまでした。次回もよろしくお祈いします～